

くまもと有機エレクトロニクス 連携エリア

有機エレクトロニクスの基盤「有機薄膜技術」を核とした
広域的な連携によるイノベーションの創出

参画機関 (太字はプログラム実施機関)

産…熊本県工業連合会 ほか

学…熊本大学、崇城大学、九州大学

官…熊本県、くまもと産業支援財団、九州先端科学技術研究所

金…日本政策金融公庫、肥後銀行、熊本銀行

地域イノベーション戦略

有機エレクトロニクスの基盤「有機薄膜技術」をターゲットとし、北部九州地域の強みである有機材料技術の蓄積や半導体製造装置関連企業の集積、そして「くまもと有機薄膜技術高度化支援センター(Phoenics)」の機器群等を生かし、有機エレクトロニクスを地域の次世代リーディング産業に育成するため産学官金が連携し、地域の半導体関連企業の同分野への参入や関連企業の誘致を進め、持続的・発展的な地域イノベーションの創出を目指します。



プロジェクトディレクター 河北 隆生

略歴：熊本県産業技術センターで企業の技術支援に長年従事し、次長を経て、現在くまもと産業支援財団で有機薄膜関連事業の実務を統括しています。

有機エレクトロニクスによる地域イノベーションを興すため、熊本県では【くまもと有機薄膜技術高度化支援センター<ハード>】【地域イノベーション戦略支援プログラム<ソフト・ヒューマン>】【くまもと有機エレクトロニクス産業促進協議会<企業参入の促進>】の3つの基盤を整備しました。

私たちはこれらを活用して、有機エレクトロニクスを次世代のリーディング産業に育成するため、日々活動しています。関心のある方はぜひご連絡ください。

事業の内容

【全体計画及び成果】

有機薄膜技術を核とした研究開発と事業化の促進、広域連携を通してそれらを支える人材育成に取り組みます。

<研究開発>

招へい研究者や地域企業の技術者等が連携し、大学やPhoenics等の機器を活用して、塗布や封止技術、それらに関わるプロセスの自動化に役立つ材料、製造・評価装置等の研究開発を行っています。

有機エレクトロニクス周辺材料



フレキシブル発光フィルム
(熊本大学)

塗布性有機半導体材料



塗布単層有機EL表示デバイス
(崇城大学)

<ネットワーク構築強化>

技術シーズと企業ニーズとのマッチング、研究成果の実用化・事業化の支援のほか、Phoenicsの技術拠点としての機能強化を行っています。

<人材育成>

Phoenicsの機器等を活用した有機薄膜デバイス試作等の人材育成プログラムを実施するなど、地域における自律的な人材育成機能を構築しています。

【実施する支援メニュー】

1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積
(実施機関：熊本大学、崇城大学、九州大学)
有機薄膜技術の研究者6名を3大学に招へいし、材料等の研究開発を加速させています。
2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施(実施機関：くまもと産業支援財団)
材料・装置等当地域の出口戦略に対応する研修等を行っています。
3. 大学等の知のネットワークの構築
(実施機関：くまもと産業支援財団)
大学等のシーズ移転や特許面の支援、実用化・商品化に向けた支援等を行っています。



山鹿灯籠まつり金灯籠用有機EL照明
(納入販売実績数138基)

4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化
(実施機関：熊本大学、崇城大学)
大学に設置する最新設備を共用化設備とし、地域企業に広く開放しています。